

特別全国障害者スポーツ大会茨城県選手団結団式について

10月6日（金）、茨城県庁9階講堂において「特別全国障害者スポーツ大会茨城県選手団結団式」を開催しました。

障害者スポーツの全国的な祭典であるこの大会は、障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的としております。

今年、10月28日（土）から30日（月）までの3日間、鹿児島県内各地で開催され、本県からは95名（選手51名、役員44名）の選手団が参加します。

結団式では、深澤 泰子（ふかさわ やすこ）福祉部次長から県旗が授与された後に、陸上競技に出場する向後 愁翔（こうご しゅうと）選手による選手宣誓、松崎 昌樹（まつざき しょうじゅ）団長（茨城県身体障害者福祉協議会副会長）による決意表明などが行われました。

選手団一行は、今月26日（木）に開催地の鹿児島県へ向けて出発します。

記

- 1 名称（愛称）
特別全国障害者スポーツ大会（燃ゆる感動かごしま大会）
- 2 スローガン
熱い鼓動 風は南から
- 3 日程
令和5年10月28日（土）～30日（月）
- 4 本県選手参加競技別人数

陸上競技	16名（身体部門8名 知的部門8名）
水泳	5名（身体部門2名 知的部門3名）
卓球	8名（身体部門3名 知的部門3名 精神部門2名）
サウンドテーブルテニス	1名（身体部門）
フライングディスク	7名（身体部門3名 知的部門4名）
ボッチャ	2名（身体部門）
ボウリング	3名（知的部門）
バレーボール聴覚障害男子	9名（身体部門）

◎県旗授与



◎選手宣誓



◎集合写真

